

生命科学研究科の求める教員像と教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

生命科学研究科の教員は、本学の求める教員像を踏まえ、本研究科における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組めることが求められる。

具体的には、本研究科の教員には、以下に挙げる能力・姿勢が求められる。

- 生命科学分野及び関連分野において、世界をリードする高度な研究開発や独創的研究を行う能力。
- 教育研究活動において、高い教育研究の成果が期待できうる十分な知識・経験及びコミュニケーション能力。
- 教育研究活動において、国際的な幅広い視点に裏付けられた豊かな外国語能力・対話能力。
- 教育研究活動において、高い倫理観を持ち、人権を尊重し、コンプライアンスを遵守しうる能力。
- 周囲の教職員と多様性を認め合い共働しながら、本研究科の教育研究活動及び管理運営に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与する姿勢。

(2) 教員組織の編制方針

生命科学研究科の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。本研究科における教育研究活動を継続的に実施するため、本学の教員組織の編成方針と本研究科の求める教員像を踏まえた多様な人材を配置し、また、教育研究活動、社会貢献、大学と本研究科の管理運営の各種活動について教員間で連携・協働するために適切にその役割を分担する。教員の募集・採用・昇任等にあたっては、本研究科の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。